

## 固視状態の検査

参考) 渡辺好政:視能矯正学 P223~224, 山本節:P350

竹田千鶴子:視能矯正マニュアル P121、198~202

久保田伸枝:視能学 P413、414, 深井小久子:P433~436

### 単眼のとき、fovea で物を見ているかどうかの検査

#### A. 間接観察法

眼底を直接覗いて検査をせず、他の現象を利用して、間接的に固視状態を知る方法

- a. 角膜反射を利用する方法
  - ①眼位に異常がない場合  
(単眼性固視検査)
  - ②眼位に異常がある場合  
(両眼性固視検査)
- b. 内視現象を利用する方法  
(コーディナトル)
  - ①Haidinger's Brushes を利用する方法  
(黄斑部の Henle 層の神経線維の放射状走行による内視現象を利用したもの)
  - ②Maxwell 班(略)

#### B. 直接観察法

眼底を直接見る方法

- a. Visuscope を利用する方法  
(固視標付直像検眼鏡)
  - 能動的方法
  - 受動的(自覚的)方法
- b. Euthyscope を利用する方法—残像を用いる自覚的方法  
 ユーティスコープ、オイチスコープのどちらの呼び方でもOK。
- c. 眼底カメラを利用する方法(略)—固視標つき無散瞳カメラ 視能学P414、434、436
- d. 細隙灯顕微鏡を利用する方法(略) 視能学P414
- e. 走査レーザー(SLO)検眼鏡を利用する方法(略) 視能学P434